

霧島市「今週の一問」 中1国語 七月六日版
H二十七年鹿児島学習定着度調査問題(中1)から

1 松田さんは、自分の学級で図書委員会からの連絡をすることになりました。次は、学校の図書委員会が作成した掲示物「図書委員会からのお知らせ」と、松田さんの「発表原稿」です。これらを見て、あとの問いに答えなさい。

【図書委員会からのお知らせ】

図書委員会からのお知らせ

← A

◎ もっと図書館を利用しましょう！

月	利用者数 (人)
四月	490
五月	470
六月	465
七月	450

◎ 使っていますか？「学級文庫」

C →

D →

読んでいない本を寄贈してください

【発表原稿】

学校の図書委員会から、お知らせがあります。この二、三か月、学校全体で、学校の図書館の利用者が減ってきています。貸し出し冊数も減っているというは大きな問題だと考えています。

私たちのクラスでも、外で遊ぶ人は多いのですが、図書館に来ている人が少ないし、決まった外で遊べない日などは、積極的に図書館を利用するようにしてください。

また、どの学級でも、読書に活用してもらうために学級文庫を設置して、たくさんの本を置いています。が、はたして実際はどうかという疑問が、図書委員会で取り上げられました。そこで、学級文庫を活用してもらうために、自宅にある読み終わった本など、学級文庫に寄贈してくれる本を募集することにしました。もし、寄贈してもいいという本があれば、私たち図書委員に持ってきてください。

また、私たちのクラスについて言えば、学級文庫の棚が整理されていないことがあります。朝読書などに利用した人は、読んだ本を必ずもとの場所に戻すようにしてください。

これで、図書委員会からのお知らせを終わります。



一 松田さんは、発表原稿の「この二、三か月、減ってきています。」を説明する際に、「【図書委員会からのお知らせ】」のどこを指し示したか、A、Dの中から最も適当なものを一つ選び、記号を書け。

□

二 松田さんは、図書委員会からの連絡事項だけでなく、自分のクラスの実態も考えて、具体的に連絡するような発表原稿を作成した。このような表現をすることで、どのような効果が期待できるか。

□

三 松田さんの連絡を聞いた富永さんは、「はたして実際はどうかという疑問」という発言がわかりにくかったので、次のように確認の質問をしようと考えた。

□

で

学級文庫について「実際はどうかという疑問が」ということでしたが、「各学級の学級文庫は、実際には□ではないか」と図書委員会では考えていると受け取っていいですか。

□

